

# 松坂城下町遺跡（第8次）

所在地：松阪市本町地内

調査期間：平成30年8月8日(水)～平成31年1月9日(水)

調査面積：約500㎡

街路事業松坂公園大口線工事に伴い昨年8月から行っていた松坂城下町遺跡の調査が終了しました。今回は調査成果を簡単に報告させていただきます。

松坂城下町が整備されたのは、天正十六（1588）年に蒲生氏郷が松ヶ島城から四五百森（よいほのもり）に居城を移したのが始まりです。



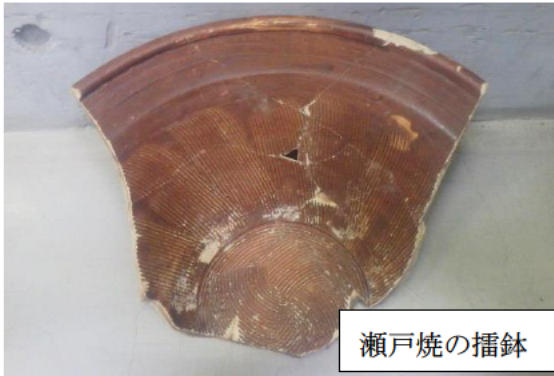
(国土地理院 「松阪」 1:25,000 より)

元和五年（1619）年に紀州藩領となった後も商人の街として栄え続けました。

今年度の調査は、松坂城から北東へと延びる大手筋（メインストリート）と本町東交差点から南東方向の調査を行いました。地図中赤線部分の調査を行い、江戸時代の建物の柱穴や土坑が確認されました。



道路の下には鎌倉時代から現代まで時代ごとに土が堆積していました。これまでは江戸時代以前の松阪がどんな場所であったのかについては、ほとんどわかっていませんでした。今回の調査では、鎌倉時代に遡る溝や土坑が確認され、鎌倉時代に集落が営まれていたことが新たに分かりました。



瀬戸焼の搦鉢



色々な模様 of 磁器碗



土瓶



軒平瓦



綺麗な模様 of 漆塗り碗



いろいろな貝

また、陶磁器をはじめ、木製品や金属製品など多くの遺物が出土しました。遺物の種類も非常に多く江戸時代の松坂の人々の豊かな生活が想像されます。

問い合わせ先  
〒515-0325  
三重県多気郡明和町竹川503  
三重県埋蔵文化財センター 担当：中川・水谷  
電話0596-52-1732  
FAX0596-52-7035